

富山市城南公園の野鳥（2008年6月～2009年5月）

著者	桃花鳥の会
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	33
ページ	165-167
発行年	2010-03-15
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=903

資 料

富山市城南公園の野鳥 (2008年6月~2009年5月)*

桃花鳥の会

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

Records of Birds at Jyonan Park, Toyama city, Toyama prefecture, Japan, June 2008-May 2009.

Toki-no-kai

c/o Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

富山市の市街地の鳥類相を明らかにする目的で、富山市科学博物館に隣接する城南公園で2007年6月から鳥類調査を開始し、2008年5月までの結果は既に報告した(桃花鳥の会, 2009)。今回2008年6月~2009年5月までの調査結果を報告する。調査は継続中である。なお、「桃花鳥の会」は富山市科学博物館のボランティアの1グループである。

調査地と方法

調査地の城南公園の概要は既に述べたが(桃花鳥の会, 2009)、調査期間中の環境の変化はみられない。調査は、2008年6月から2009年5月にかけて毎月1回、早朝(夜明け頃) 30~50分間、城南公園を会員3~7名がゆっくり歩き、出現する鳥の種、個体数を直接観察と鳴き声を参考に記録した。上空を飛ぶ鳥もカウントした。今回は月1回の早朝の観察に加え、渡りのシーズンである4月19日午前中の調査を加えた。平成21年度の桃花鳥の会のメンバーは、大住剛、大野博美、押川たか子、金子玲子、熊木信男、田口松男、二宮美加、満保清憲、水野洋子(五十音順)で、担当学芸員は南部久男である。野鳥の同定は主に熊木が行い、全体のとりまとめは、南部が行った。

確認した鳥類

2008年6月から2009年5月の早朝の12回の調査で、上空を含むと31種(1亜種を1種と数えた)の鳥類が、上空を除くと25種が確認された(表1)。城南公園で確認

された上空を除く鳥類を、松木(2005)の富山県の野鳥の渡り区分により分けると、留鳥17種、夏鳥2種(ツバメ、コメボソムシクイ)、冬鳥5種(ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、マヒワ、シメ)である(ホオジロハクセキレイは不明)。

早朝城南公園とその周辺で確認された鳥(地上や公園内を飛行中)で、10回以上みられたのは、キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスであり、6~9回みられたのは、ハクセキレイ、シジュウカラ、カワラヒワ、オナガであった。2~5回確認されたのは、カルガモ、キジ、ドバト、セグロセキレイ、ツグミ、ウグイス、イカルであった。1回だけ確認されたのは、ホオジロハクセキレイ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、コメボソムシクイ、マヒワ、シメであった。前回と比較すると、シジュウカラ、ムクドリ、オナガの確認回数が3~5回増えた。前回の調査で確認できたが、今回確認できなかったのは夏鳥のツツドリとエゾムシクイ、冬鳥のアトリの3種である。今回新たに確認できたのは、ホオジロハクセキレイ、留鳥のイカル、夏鳥のコメボソムシクイ、冬鳥のマヒワ、ジョウビタキであった。なお、上空で確認された鳥類の内、アマサギが今回の調査で新たに確認された。

上空で目撃されたハシブトガラス属(ハシブトガラス又はハシボソガラス)は、大部分が北から南へ向かう個体であった。確認個体数は、6~9月は100羽以下で、7月~8月に300羽前後に増加し、12月から2月はさらに増加し、400羽を越し、3月から減少し、4~5月は20羽以下となった。

城南公園鳥類目録

本調査で確認した鳥類を、日本鳥学会(2000)の分類に準じ記す。()は前回調査で確認。*は今回調査で確認。

コウノトリ目 CICONIIFORMES

サギ科 ARDEIDAE

ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (Linnaeus)

*アマサギ *Bubulcus ibis* (Linnaeus)

ダイサギ *Egretta alba* (Linnaeus)

コサギ *Egretta garzetta* (Linnaeus)

アオサギ *Ardea cinerea* Linnaeus

カモ目 ANSERIFORMES

*富山市科学博物館業績第399号

表1 確認された鳥類

調査年	2008年							2009年						
調査月日	6/4	7/2	8/1	9/3	10/2	11/4	12/3	1/9	2/4	3/4	4/2	4/19	5/1	
天候	くもり	晴れ	晴れ			雨	晴れ	晴れ	晴れ		くもり	晴れ	晴れ	
調査時間	4:20～ 5:10	4:30～ 5:06	5:00～ 5:37	5:21～ 5:50	5:20～ 6:05	5:58～ 6:38	6:20～ 7:00	6:30～ 7:10	6:25～ 7:00	5:50～ 6:43	5:14～ 5:48	10:00～ 10:30	4:32～ 5:06	
調査人数	6	5	6	5	4	5	5	5	7	2	3	3	4	

確認回数5)	
今 回	前 回
3	4
1	0
2	1
3	4
3	3
2	1
2	1
1	1
2	1
2	2
10	12
2	4
8	6
1	0
2	2
12	11
1	1
1	0
1	1
2	4
2	1
1	0
8	3
6	7
1	0
2	0
1	2
12	12
10	7
7	4
12	10
11	12

和名	渡り1)	場所	確認個体数											
ゴイサギ	留鳥	上空	3		3							1		
アマサギ	夏鳥	上空	1											
ダイサギ	夏・冬	上空			1		3							
コサギ	留鳥	上空		4	1					4				
アオサギ	留鳥	上空	5								1	1		
コサギ属の一種2)		上空			5			14		1				
カルガモ	留鳥	上空		1										2
トビ	留鳥	上空												2
キジ	留鳥		1		1					1			1	
ドバト	留鳥			2								2		
キジバト	留鳥		5		3	3	1		1	2	1	1	5	1
ツバメ	夏鳥		3	19										
ハクセキレイ	留鳥		4		1		1	1	3	3	1	1		
ホオジロハクセキレイ			1											
セグロセキレイ	留鳥					1								1
ヒヨドリ	留鳥		6	2	3	4	6	10	5	10	8	6	4	42
モズ	留鳥						1							1
ジョウビタキ	冬鳥							1						
シロハラ	冬鳥											2		
ツグミ	冬鳥										1	1		5
ウグイス	留鳥		1										1	1
コメボソムシクイ	夏鳥		1											
シジュウカラ	留鳥			1		1		1	2	1	1	3	1	
カワラヒワ	留鳥		5	10	2							6	6	6
マヒワ	冬鳥											2		
イカル	留鳥									2	1			
シメ	冬鳥												1	
スズメ	留鳥		15	20	21	15	3	6	5	6	6	3	4	9
ムクドリ	留鳥		10	38	47	32	33			1	3	8	14	1
オナガ	留鳥			4	3		8	5			5	2	1	
ハシブトガラス3)	留鳥		2	7	4	3	5	4	2	9	5	30	4	1
ハシボソガラス3)	留鳥		4	13	5	6	11	4		9	5	9	6	3
ハシブトガラス属の一種4)		上空	10	46	22	35	309	298	659	518	458	171	19	
不明小鳥								1						9

計			77	167	122	100	381	330	692	561	501	244	73	71	50
計（上空の鳥除く）			58	116	90	65	69	32	18	43	37	72	50	70	37

種数（上空含む）			16	12	13	8	10	8	6	9	13	13	15	11	11
種数（上空除く）			13	10	10	8	9	8	6	9	12	12	13	10	10

- 1) 松木(2005)による区分。
- 2) 上空のコサギ属の一種は、コサギ、チュサギ、ダイサギ、アマサギ属のアマサギのいずれかと思われる。
- 3) 城南公園と周辺で、目視、鳴き声で確認したもので、上空で確認したものや建物に止まっているものなどを含み、4)に含まれる場合もそうでない場合もある。
- 4) ハシブトガラス又はハシブトガラス。
- 5) 今回の確認回数は4月19日を除く。前回は桃花鳥の会(2009)による。

カモ科 ANATIDAE
 カルガモ *Anas poecilorhyncha* Forster
 タカ目 FALCONIFORMES
 タカ科 ACCIPITRIDAE
 トビ *Milvus migrans* (Boddaert)
 キジ目 GALLIFORMES
 キジ科 PHASIANIDAE
 キジ *Phasianus colchicus* Linnaeus
 ハト目 COLUMBIFORMES
 ハト科 COLUMBIDAE
 ドバト *Columba livia var. domestica* Linnaeus
 キジバト *Streptopelia orientalis* (Latham)
 ホトトギス目 CUCULIFORMES
 ホトトギス科 CUCULIDAE
 (ツツドリ *Cuculus saturatus* Blyth)
 スズメ目 PASSERIFORMES
 ツバメ科 HIRUNDINIDAE
 ツバメ *Hirundo rustica* Linnaeus
 セキレイ科 MOTACILLIDAE
 ハクセキレイ *Motacilla alba lugens* Linnaeus
 *ホオジロハクセキレイ *Motacilla alba leucopsis* Linnaeus
 セグロセキレイ *Motacilla grandis* Sharpe
 ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE
 ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* (Temminck)
 モズ科 LANIIDAE
 モズ *Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel
 ツグミ科 TURDIDAE
 *ジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* (Pallas)
 シロハラ *Turdus pallidus* Gmelin
 ツグミ *Turdus naumanni* Temminck

ウグイス科 SYVIIDAE
 ウグイス *Cettia diphone* (Kittlitz)
 (エゾムシクイ *Phylloscopus borealoides* Portenk)
 *コメボソムシクイ *Phylloscopus borealoides borealoides* (Blasius)
 シジュウカラ科 PARIDAE
 シジュウカラ *Parus major* Linnaeus
 アトリ科 FRINGILLIDAE
 (アトリ *Fringilla montifringilla* Linnaeus)
 カワラヒワ *Carduelis sinica* (Linnaeus)
 *マヒワ *Carduelis spinus* (Linnaeus)
 *イカル *Eophona personata* (Temminck & Schlegel)
 シメ *Coccothraustes coccothraustes* (Linnaeus)
 ハタオリドリ科 PLOCEIDAE
 スズメ *Passer montanus* (Linnaeus)
 ムクドリ科 STURNIDAE
 ムクドリ *Sturnus cineraceus* Temminck
 カラス科 CORVIDAE
 オナガ *Cyanopica cyana* (Pallas)
 ハシボソガラス *Corvus corone* Linnaeus
 ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* Wagler

参考文献

- 松木鴻謠, 2005. 富山県鳥類目録 (平成17年3月1日現在). pp.185-189. 鳥たちの戦略. 桂書房. 富山.
 日本鳥学会, 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版. 土倉事務所, 京都. 345pp.
 桃花鳥の会, 2009. 富山市城南公園の野鳥 (2007年6月～2008年5月) 富山市科学博物館研究報告, (32): 155-159.